

# 県トヲ新 聞

社長 創立五〇周年を 迎えるにあたり



富山県トラックは来る六月に創立五〇周年を迎える。しかし、創立当時の写真などが全く残されていない。どのような経緯で富山県トラックという会社が出来たのかを物語るものは、亡くなった私の父の自叙伝以外には何も残っていない。

それによると、富山県トラック株式会社は、父が経営していた株式会社吉澤油化学研究所の輸送を担う企業にする為、当時経営困難に陥っていた中越急送株式会社という会社の再建に係わった事からスタートしている。昭和四四年五月六日に中越急送株式会社再建委員会が結成され、再建案が議決されたものの、旧経営陣の社長がその再建案を不服として退社した為、五月一日に名称を「富山県トラック株式会社」に変更し、吉澤油化学の資料課長が責任者となり六月八日に事実上のスタートを切ったと自叙伝にはある。

そんな経緯もあってか、船出を祝うとは程遠い状況だったのでは無いかと推察される。運輸業に精通しない素人集団による経営という事も有り、創業期には父の言葉を借りれば「戦慄を覚える程の凄まじい思い出しに満ちた大改革を断行したようである。そんな中で、苦しくても看板を汚さぬよう法令を守り、富山県トラックの信用の基礎が築かれて行った。それは今もしっかりと受け継がれているDNAとも言える。

実際私が入社した平成元年は創立二〇周年に当たっていたが、当時そのような意識が全くなかった理由は、前述の設立経緯にも有るように思う。今日まで、周年をお祝いしたのは一〇年前の四〇周年記念の社員旅行だけである。

しかし、紆余曲折は有ったが今は社員も一〇〇人近い大所帯になった。次の時代に向かっている決意を新たに、これまで支えてくれた方々や、今頑張っている社員と共に、盛大に五〇周年をお祝いしたいと思う。また、五〇周年を記念して、カンパニーソング(社歌)を作り、企業CMを制作したいと考えている。

当然の事だが、イメージで会社が良くなるわけではない。社員が働きやすい会社となるよう、三ヶ年経営計画」を柱に、若手中心で次の時代を創って行つてもらおうように支えて行きたい。そして、富山県トラックがこれからもこの富山の地で、お客様に愛され、信頼されそして満足して頂けるブランド企業になるべく、これからもたゆまぬ努力を続けて行きたいと思う。

吉澤比佐志

第60号 発行所 富山県トラック(株) 富山市水橋沖188 TEL 076(479)6311 FAX 076(479)6300

Please! NEXT 次回担当は.. 花井さん & 春田さん よろしく お願いします

県トラブログ更新中 HPのトップページから入れます。毎週更新中！是非ぜひ見てくださいね

今第60号は 川田・野村が 担当しました



## 入社式 二〇一九年四月新卒入社

四月一日に入社式を行いました。今年は男性一名(福富さん)が入社されました。入社式ではとても緊張されていたと思いますが、しっかりと決意表明をしてくれました。二〇歳になったばかりのフレッシュな福富さんにインタビューです！

### Q1 県トラの第一印象は？

A 人間関係がよく 働きやすそう

### Q2 趣味は？

A 音楽を聴くこと

### Q3 休日の過ごし方は？

A TV・音楽・寝る

### Q4 ひとこと

A 一日でも早く 皆さんの力に なれるよう 頑張ります



## ★リレー方式★ 県トラ社員紹介

今回は本社ドライバーの山口利継さん、三守正人さん、濱谷一範さんの紹介です。

### Q1 趣味は？

A 山口 スポーツ(特にマラソン)

A 三守 スポーツ

A 濱谷 特にありません

### Q2 休日の過ごし方は？

A 山口 走る(友人とランニング)

A 三守 家族サービス

A 濱谷 テレビ鑑賞

### Q3 意気込みをお願いします

A 山口 事故に注意して走ります

A 三守 安全運転で頑張ります

A 濱谷 事故を起こさないように 気をつけて頑張ります



濱谷さん



三守さん



山口さん



## 2019年度 全社会議

四月一三日(土)全社会議が執り行われました。(今年度より四月開催に変更となりました) まず吉澤社長より二〇一九年度の行動指針の発表がありました。今年度のスローガンは、**「協力による価値創造」**です。 間もなく五月一日より令和元年がスタートします。お客様にとって必要なことを真摯に考え創造し、付加価値のあるサービスが提供出来るよう一丸となって頑張っていきたいと思えます。



## 全社会議 & 全社懇親会 写真特集